令和6年度　指定管理者施設管理評価シート

部課名	教育委員会事務局生涯学習課		
施設名称	13	東京都台東区立社会教育センター	
指定管理者	ＪＮ共同事業体		
選定方法	□ 公募　■ 継続特例　□ 非公募		
指定期間	R4.4.1	～	R9.3.31

1．施設及び事業の概要

(1)	[設置目的]	社会教育の振興を図るため、区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。
(2)	[所 在 地]	台東区東上野6-16-8
	[規　　模]	延床面積1,689㎡　RC造 ホール（130名）、会議室（40名）、和室（20名）、調理室（32名）
(3)	[委託事業]	①社会教育センターの管理運営　②各種社会教育学級・講座・研修・講習会等の実施 ③社会教育に関する資料収集・情報提供
	[自主事業]	地域の繋がり文化イベント、学ぶ機会を広げる講座、サークルフェスタ等実施
(4)	[利 用 者]	社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。
	[利用料金制]	■ 有　　□ 無
(5)	[開館日・時間]	開館日：火～日曜:午前9:00～午後10:00　第2・4月曜:午前9:00～午後10:00　第1・3・5月曜:午後1:00～午後10:00休館日：年末年始（12/29～1/3）設備点検日
(6)	[人員体制]	13 名
	（内　　訳）	統括責任者兼台東区社会教育センター責任者（1）　統括副責任者兼教育事業統括（1） 維持管理責任者（1）　受付・庶務（9）、教育主任(1)
	（前年増減）	1名増（受付・庶務）

2．予算決算

		R4予算	R4決算	R5予算	R5決算
収入	委託料（指定管理料）	84,258,000	84,336,721	88,169,000	85,886,179
	利用料金収入	2,449,000	2,208,195	2,449,000	2,387,230
	その他収入(　　　　　　　　)	0	0	0	0
	計	86,707,000	86,544,916	90,618,000	88,273,409
支出	人件費	37,442,000	37,448,385	37,920,000	37,492,000
	光熱水費	6,733,000	8,465,409	9,913,000	7,005,909
	維持管理費（委託料・賃借料）	35,836,000	35,490,076	35,913,000	35,528,426
	修繕費	916,000	512,325	916,000	1,700,469
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(　通信運搬費等　)	5,780,000	6,436,961	5,956,000	3,424,928
	計	86,707,000	88,353,156	90,618,000	85,151,732
収支			-1,808,240		3,121,677

3．活動指標

3．活動指標	単位	(目標値)R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
年間開館日数	日	354	338	352	355
自主事業等講座	講座	20	9	13	16

4．成果指標

4．成果指標	単位	(目標値)R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用率	%	51.0	39.9	44.0	48.4
利用人数	人	28,000	13,315	21,446	25,066

5．前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

利用者アンケートについては、利用者懇談会でアンケートの内容を説明をしたことで回収率が向上し、より多くの意見・要望の把握ができた。電気・ガス料金については節電対策の成果により経費削減することができた。

６．評価の観点

（20点）　水準を全て満たしている（年間通じて問題がなかった）　（19～14点）水準の範囲内である（一部軽微な課題あり）
（13～12点）水準をやや下回った　（11点以下）水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 ／20 点	関係法令等を遵守して運営されている。事業計画書、事業報告書等は適正に作成され、遅延なく提出されている。施設設備の故障があった際は、速やかに報告、対応がなされ、適正な管理運営ができている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 ／20 点	窓口用タブレットを常設し、施設の情報提供や相談業務を行った。講座の講師を地域の人材から発掘するなど、積極的に地域との連携をはかり、地域活動への参加に繋げることができた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 ／20 点	施設管理表を用いて計画的な修繕に努めている。正面玄関前の外構の隙間については補修して安全確保に努めた。不具合箇所を見つけたときは、改修方法の提案を積極的に行っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 ／20 点	利用者アンケートによると設備・備品の整備についての満足度が高く、また、スタッフ対応への要望も高かったため、より満足いただける応対ができるよう研修に取り組んだ。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 ／20 点	光熱費の高騰に対応するため節電に努め、大幅な経費削減ができた。設備等の修繕費については増加となったため、定期的に点検を行い適切な管理を行っていく必要がある。

(6) 優れた取組み **≪加点項目≫** ※点数上限：１０点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
ー 点	

７．総合評価　極めて良好（110～101）・良好（100～91）・適正（90～70）・改善指示（69以下）

	【所見】	【各項目20点に届かなかった主な要因･課題】
良好 （　98　/110点）	調理室を活用し、親子向けの多彩な料理教室等を行っている。新たな試みとして窓口にタブレットを設置し、施設や講座の情報照会及び相談内容にも対応できるようにしたことが評価される。	前年度より利用料収入は増加したが予算額には至っていないため、さらなる収入増加を図る工夫が必要である。